協議会・博物科学会プログラム

6 月 19 日（木）

場所　総合情報メディアセンターメディアホール

12:00　受付開始

13:00　開会挨拶　　愛媛大学長　柳澤康信

13:05　来賓挨拶　　文部科学省研究振興局学術機関課　高橋　亮

13:15　大学博物館等協議会シンポジウム『大学博物館のみせ方、みられ方』

13:15　趣旨説明　　実行委員会委員長　弓削俊洋

13:20　特別講演「大学博物館の存在意義－愛媛大学ミュージアムの実践と課題－」（仮）

愛媛大学長　柳澤康信

14:00　休憩（10 分）

14:10　講演　「愛媛大学ミュージアムの“みせ方・考え方”」

徳田明仁（愛媛大学ミュージアム）

14:30　講演　「北大総合博物館の展示の変遷－展示というメディアを大学に根づかせる－」

大原昌宏（北海道大学総合博物館）

14:50　講演　「キャンパス内外に分散する施設を活用した大学ミュージアム活動の事例」

會下和宏（島根大学ミュージアム）

15:10 討議・意見交換

15:40　休憩（10 分）・ポスター発表

15:50　館長会議・ポスター発表

16:20　実務者会議

16:50　休憩（10 分）

17:00　協議会総会・博物科学会総会

17:50　移動

場所　大学会館２Ｆ「リーセス」

18:00　懇親会

20:00　散会

6 月 20 日（金）

場所　総合情報メディアセンターメディアホール

9:00　博物科学会研究発表

11:30　愛媛大学ミュージアム見学（ガイドツアー）

12:30　昼食・ポスター発表

13:30　博物科学会研究発表

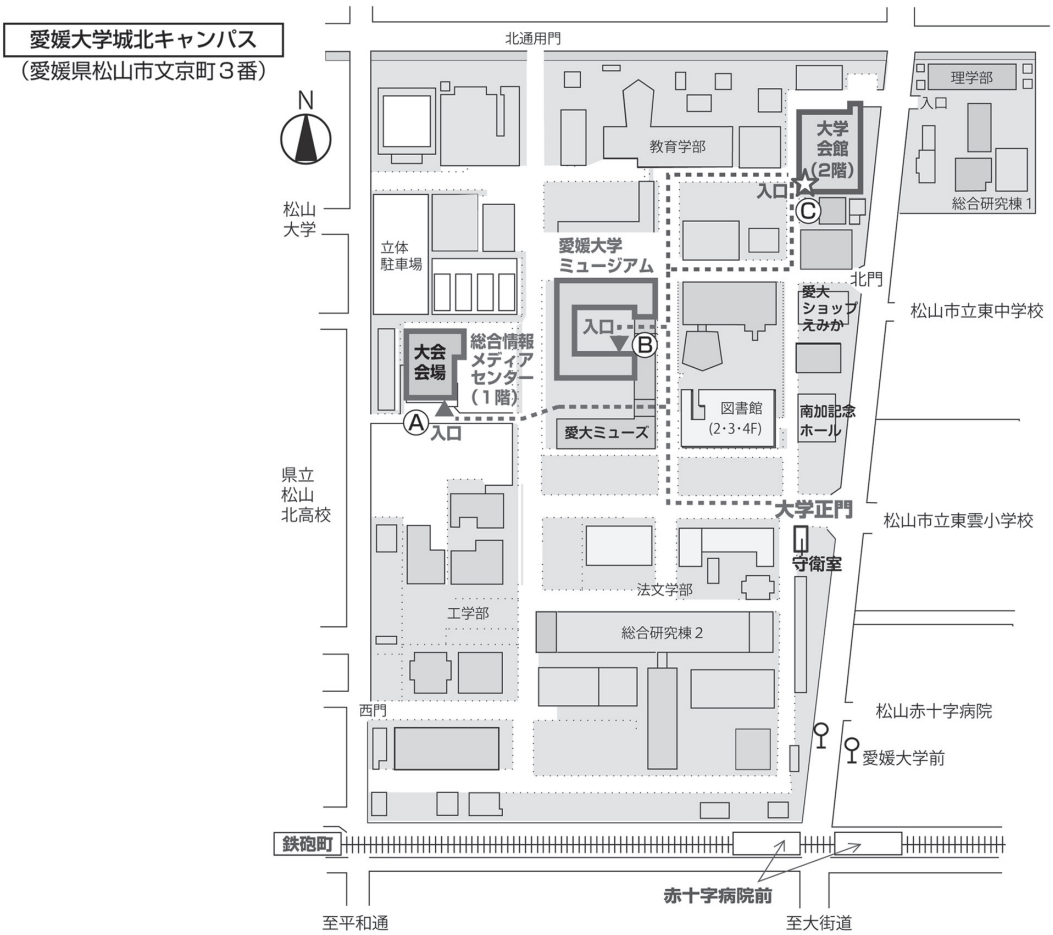
16:00　散会

会場案内

大会会場　：愛媛大学総合情報メディアセンター（愛媛大学城北キャンパス）

シンポジウム、口頭発表、総会	Ⓐメディアホール
ポスターセッション	Ⓐメディアホール前ホワイエ
館長会議、実務者会議	Ⓐメディアホール
愛媛大学ミュージアム見学	Ⓑ愛媛大学ミュージアム

懇親会会場：大学会館２階「リーセス」Ⓒ（愛媛大学城北キャンパス）



Ⓐ 大会会場（総合情報メディアセンター）

Ⓑ 愛媛大学ミュージアム

Ⓒ 大学会館

第９回博物科学会 発表プログラム

6 月 19 日（木）
場所：愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール前ホワイエ

【ポスター発表】
コアタイム：19 日（木）15:40 ～ 16:20 および 20 日（金）12:30 ～ 13:30

P -01　やきものづくりから学ぶものづくり
－ 地域と大学博物館の連携による教育機会の創出
○遠藤康一・○阿児雄之・亀井宏行・広瀬茂久・奥山信一・道家達將
（東京工業大学博物館）・櫻井修（東京工業大学大学院材料工学専攻）・
森安勝・成田彰・岩城純・片渕和啓（東京工業大学附属科学技術高等学校）

P -02　学生による企画展でのハンズオン標本の開発と実践
～京都大学総合博物館企画展「海」のケース～
丸山啓志[1・2]・唐沢與希[1]・天野早織[1]・佐藤永太郎[1]・坂井勇[1]・瀬戸口怜子[1]・
宮嶋佑典[1]・○本多玲奈[1]・一田昌宏[3]・大野照文[3]・松岡廣繁[1]
（[1] 京都大学大学院理学研究科・[2] 日本学術振興会特別研究員 DC2・
[3] 京都大学総合博物館）

P -03　「科学と芸術の交差展」
○黒川達矢（京都大学理学部）・牧功一郎（京都大学再生医科学研究所）・
大野照文（京都大学総合博物館）

P -04　富山大学民族薬物資料館における情報技術を応用した展示資料の見せ方
○梅嵜雅人（富山大学民族薬物資料館）・伏見裕利（富山大学民族薬物資料館）・
春木孝之（富山大学大学院理工学研究部（工学））

P -05　東日本大震災遺構３次元クラウドデータアーカイブ構築公開事業
鹿納晴尚（東北大学総合学術博物館）

P -06　文化財の修復・公開と世界遺産登録の推進
松永和浩（大阪大学総合学術博物館）

P -07　新学芸員養成課程博物館実習としての被災ミュージアム復興支援活動
佐々木理（東北大学総合学術博物館）

P -08　在仙 12 館のミュージアムによる知的情報資源の共有と地域への還元
－ SMMA（仙台宮城ミュージアムアライアンス）と「みちのく博物楽団」－
○白井孝明（東北大学大学院理学研究科）・小川知幸（東北大学総合学術博物館）

P -09　博物資料情報共有を目指した学術資源リポジトリ協議会の現状と今後
～ ‘ 試行 ’ から ‘ 事業 ’ への移行と展開～
○上田啓未・堀井洋・堀井美里・（合同会社 AMANE）・林正治（一橋大学）・
高田良宏（金沢大学）・山地一禎（国立情報学研究所）・

福島健一郎（アイパブリッシング株式会社）・古畑徹（金沢大学附属図書館）

P -10　岩手大学ミュージアムの活動と課題―開館 10 年の歩み―

○竹原明秀・梶原昌五・小野寺英輝・山本信次・藁谷収（岩手大学ミュージアム）・青井俊樹（岩手大学農学部）・岡田幸助

P -11　東京大学総合博物館タンデム加速器分析室の紹介

松崎浩之・○徳山裕憲・中野忠一郎・土屋陽子・楠野葉瑠香・川本万里奈（東京大学総合博物館タンデム加速器分析室）・森田明・伊藤誠二・広石大介・三宅泰斗・Angel T. Bautista（東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻）

6 月 20 日（金）

場所：愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール

【口頭発表】　午前の部　9:00 ～ 11:30

9:00 ～ 9:20　O -01　広島大学における学芸員資格取得特定プログラム新課程の実施について
－これまでの成果と今後の課題－
○藤野次史・岡橋秀典・清水則雄・佐藤大規（広島大学総合博物館）

9:20 ～ 9:40　O -02　金沢大学資料館と博物館関連授業との連携の試み
○笠原健司（金沢大学資料館）・有村誠（金沢大学歴史言語文化学系）

9:40 ～ 10:00　O -03　総合博物館を活用した「教職実践演習」の試み
大野照文（京都大学総合博物館）

10:00 ～ 10:20　O -04　魅せる、大学博物館－北海道大学総合博物館夏季企画展「学船　洋上のキャンパスおしょろ丸」を事例として
藤田良治（北海道大学総合博物館）

10:20 ～ 10:30　休憩

10:30 ～ 10:50　O -05　企画展「考古学からの挑戦―東北大学考古学研究の軌跡―」発案から展示まで
柳田俊雄・○小川知幸（東北大学総合学術博物館）

10:50 ～ 11:10　O -06　来館者とのコミュニケーションがつくる企画展
－「形と機能」の理解を目指した展示は伝わったのか？
○松本由樹（香川大学農学部）・松下幸司（香川大学教育学部）・伊藤文紀（香川大学農学部）・寺林優（香川大学工学部）

11:10 ～ 11:30　O -07　愛媛大学ミュージアム業務を通じた学生スタッフへの教育効果
吉田広（愛媛大学ミュージアム）

【愛媛大学ミュージアム見学（ガイドツアー）】　11:30 ～ 12:30

12:30 ～ 13:30　昼食

【ポスター発表】 12:30 ～ 13:30
場所：愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール前ホワイエ

【口頭発表】 午後の部 13:30 ～ 16:00

13:30 ～ 13:50 O -08 学生主体で展示を行う―愛媛大学ミュージアム「昆虫展」での実践例
吉冨博之（愛媛大学ミュージアム）

13:50 ～ 14:10 O -09 『緒方洪庵の薬箱（阪大蔵）』研究からの示唆
：實**芰**（：ジギタリス）の実地臨床
○須磨一夫[1]・小栗一輝[1]・島田佳代子[1]・村田路人[2･3]・橋爪節也[2･3･4]・高橋京子[1･3･4]
（[1]大阪大学薬学部・[2]大阪大学文学部・[3]大阪大学適塾記念センター・[4]大阪大学総合学術博物館博）

14:10 ～ 14:30 O -10 第四高等学校由来の教育掛図のデジタル公開－水野掛図を例に－
○上田啓未・堀井洋・堀井美里・（合同会社 AMANE）・古畑徹（金沢大学）

14:30 ～ 14:40 休憩

14:40 ～ 15:00 O -11 大学博物館と地域との共働
「山形の古文書を未来へ伝承するプロジェクト」について
八木浩司・○佐藤琴・高橋加津美・小川祐貴子（山形大学附属博物館）

15:00 ～ 15:20 O -12 大学博物館を中核とした自然系博物館と図書館の連携
○菊田融・大原昌宏・小林快次・藤澤沙弥佳・（北海道大学総合博物館）

15:20 ～ 15:40 O -13 山口県大学 ML（ミュージアム・ライブラリー）連携事業の経緯と成果
○横山成己 (山口大学埋蔵文化財資料館)・吉光紀行 (山口大学情報環境部)

15:40 ～ 16:00 O -14 近隣館園と連携したスウェーデン現代アート展
橋本博文（新潟大学旭町学術資料展示館）